

下山静香「おんがく×ブンガク」の新シリーズ第2段が11月15日（金）目黒区の旧前田侯爵邸で開催され、7名の会員が参加しました。



今年で生誕220年を迎えたジョルジュ・サンド、その代表作「歌姫とコンスエロ」が今回のテーマです。素晴らしい演奏と朗読を通して一人の女性の物語に引き込まれました。

侯爵家の華麗な生活がしのばれる会場で芸術の秋にふさわしい贅沢な時間を過ごすことが出来ました。

— 終 —

**ジョルジュ・サンド** [1804-76]  
George Sand

本名アマンディーヌ・オーレール・リュシール・ド・パン。またま女性作家として19世紀中期に活躍。娯楽中絶する歌でジョルジュと改名し、文壇で活躍して、政治・社会運動にかかわった。「自立した女」の先駆的存在。作品はバルザック、ユゴー、ゴーティエ、ドストエフスキーなどから賞賛される。「アルデューヌの最後の日」「ラウの七夜」「ドゥルックツァン」の著者は『道徳の書』など、音楽が大きな存在感を示す作品も多い。リスト、ショパンのほか、ペルゴレージやマイケル・アームストロングと交友した。ロマンティックな「コンスエロ」をオペラ化しようとしたが、実現しなかった。ミュッセなどとも交際。ショパンとの恋愛は9年で終結。彼の死後を強力に活動した。

◆理想の芸術家像、著書リスト [1811-86] との交遊  
リストの大きな刺激を受けたジョルジュは、後に「次のメソーンを伝える選ばれた音楽家」というイメージを重なる。2人はともに、サン・シモン主義に共感する同士でもあった。音楽を「もつとすべからずの神の言語」と位置づけていたサンド、公開演劇「旅人の手紙」からは、芸術家として理想的な社会の建設に尽力するという熱い理想が伝わってくる。

♪フランツ・リスト：ヴァレンシュタットの湖で（緑のアルバム）より

◆ショパン [1810-49] との出会い、そして恋愛  
1936年、サンドはリストからショパンを紹介された。2人の交際が始まるのは、その約1年半後。ノアンやパリ郊外の邸や、数回再婚したマジョルカ島で、2人は充実した創作を行なった。ショパンはサンドの中に、リストと似ていた音楽家像を窺うことになったのだ。音楽家以外の側面でもない、繊細で感傷的な...

♪フレデリック・ショパン：カンタービレ / 新楽曲集 15 番「雨だれ」

◆才能あふれるミュージック、ポーリーヌ・ヴィアルド [1821-1910]  
サンドはショパンは、1839年にポーリーヌ・ヴィアルドと出会う。音楽一家に育った彼女は、深みあるコントラルトの歌声で人々を魅了し、37年に歌手として正式デビューする。翌年には、平均律を暗譜で弾き通してリストを驚かせ、彼からピアノへの道を勧められた。彼女がサンドとショパンの知己に入りとなったのは言うまでもない。

そしてポーリーヌの存在は、サンド最大の傑作「コンスエロ」に投影されることになるのだ。

♪ショパン・ヴィアルド：私を愛して / コケット (Vo.&Pf)

♪ポーリーヌ・ヴィアルド：(5つの小品) より (VL.&PF)  
1. ロマンズ 4. マズルカ 2. ベヘミエンス

~~~~~休 息~~~~~

『歌姫コンスエロ』 Consuelo (1842-43)  
音楽の天才に認められた気高いスーパースター級の歌手を演じる一大傑作。主人公の歌姫コンスエロのモデルは、サンドがその才能を高く評価し、親のような存在でもあったポーリーヌ・ヴィアルド。純粋で芯が強く不屈の精神力を備えた女性コンスエロが、「愛と冒険」を道して成長していく物語は音楽にあふれており、執、歴史、宗教もからんで壮大に展開し、読む者をわくわくさせる。他国語にも翻訳されて人気を得、アコーン、エリザベト、ドストエフスキー、ロマン、ロランなど多くの大作家たちに影響を与えた。

老教師がガラの吹き入りの生徒、少女コンスエロ  
♪ジョヴァンニ・ベルゴレージ [1710-36]：(サルヴェ・レジーナ) より

類まれな才能でスターになっていく...  
♪ニコロ・ヨンメッリ [1714-74]：(見張てられたディードネ) より

ボヘミア貴族の末裔アルベルトが愛するヴァイオリニストに恋するの、神がサタンか  
♪ニコロ・パガニーニ [1782-1840]：カプリス第 24 番 (VL)

「ボヘミア」が意味するものは...  
♪ヨゼフ・スーク [1874-1935]：愛の歌 (VL.&PF、コチアン編)

♪ポーリーヌ・ヴィアルド：(5つの小品) より  
5. 昔の歌 6. タランテラ (VL.&PF)

Pauline Viardot



# 各 位

2024年9月吉日  
JVCKWシニアクラブ  
事務局長 田代 周  
企画・実施 榎本 享二



今年7月にスタートした下山静香「おんがく×ブンガク」の新シリーズ第2段のご案内です。7月のテーマは「ドン・キホーテの生涯」でした。続く今回は、19世紀フランスの小説家 ジョルジュ・サンドの「歌姫 コンスエロをめぐるって」となります。会場は前回と同じ駒場の旧前田侯爵邸で建物内部の見学もできます。国指定の重要文化財となっている歴史と趣のある会場で「おんがく×ブンガク」に浸りましょう。チケット枚数が限られているので参加ご希望の方は、お早めにご連絡ください。

## — 記 —

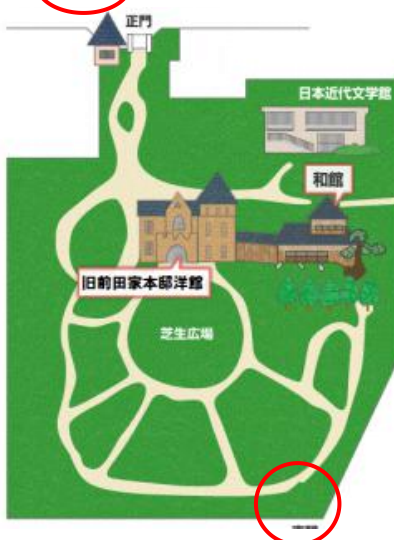
1. 日時：11月15日（金） 13：30～15：30（13時開場）
2. 場所：旧前田侯爵邸 洋館 目黒区駒場4丁目3-55 地図参照
3. 会費：3500円（一般4000円を一部シニアクラブで補助）
4. 出演：下山静香他ゲスト3名 詳細は次のページをご覧ください。
5. 申込：榎本宛に10月25日迄に 携帯/080-1084-6431

[メール/kyoji-enomoto@icom.home.ne.jp](mailto:kyoji-enomoto@icom.home.ne.jp)

以上



井の頭線「駒場東大前」駅 西口下車  
駒場公園正面入口経由徒歩12分  
南門経由で徒歩8分ほど



南門は駒場公園東側の道から左に曲がってすぐ右にあるので、見逃さないように。公園開園中は門は開いています。

